



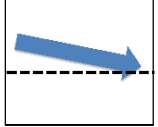

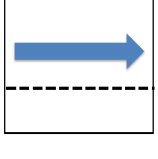


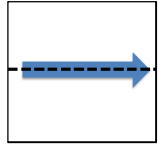


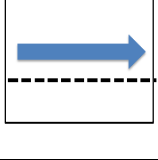

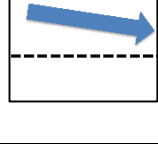

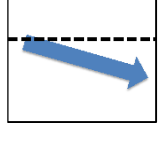


野菜の需給・価格動向レポート(平成28年4月4日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

種 類		2月の価格情報		3月の価格情報		4月	入荷量及び主要産地	生育及び価格の4月中旬までの見通し	「図の見方」 	
		(参考) 保証基準額の 算定の基 となる平均 価格	指定野菜の 関東・近畿 ブロック旬 別平均販売 価額	(参考) 保証基準額の 算定の基 となる平均 価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額					(参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格
			下旬		上旬	中旬				
葉 茎 菜 類	 キャベツ	96.86	61 (63%)	96.86	80 (83%)	79 (82%)	88.59		・ 神奈川産は、前進出荷の影響により平年よりやや多めの出荷となっており、今後も天候に恵まれ生育は順調なことから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。愛知産は、これまでの前進出荷の影響などから、現在平年より少なめの出荷となっており、今後は後作の初夏キャベツの出荷の谷間となっていこともあり、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 ・ 神奈川産の出荷が平年よりやや多めと見込まれるものの、愛知産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、平年並みに推移する見込み。	
		92.10	57 (62%)	92.10	74 (80%)	67 (73%)	91.02			
	 たまねぎ	76.15	81 (106%)	76.15	80 (105%)	81 (106%)	95.80		・ 佐賀産は、一部の品種で気温の低下により肥大が遅れているものの、生育は順調で特段病害もみられないことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。北海道産は、貯蔵物を計画的に出荷しており、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・ 佐賀産及び北海道産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、価格は引き続き平年並みに推移する見込み。	
		76.15	77 (101%)	76.15	73 (96%)	74 (97%)	95.80			
	 ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)	252.99	246 (97%)	252.99	263 (104%)	286 (113%)	277.31		・ 千葉産は、秋冬ねぎが終盤を迎える中、今後も順調な出荷が見込まれることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、定植時期の8月の台風などの影響から根の張りが悪く、また、暖冬の影響でねぎ坊主が多く、今後は出荷量が回復しないと見込まれることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。茨城産は、太りも良く生育は順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・ 埼玉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、茨城産及び千葉産の出荷が平年よりやや多め若しくは平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。	
		473.04	563 (119%)	473.04	522 (110%)	432 (91%)	334.73			
	 はくさい	64.18	74 (115%)	64.18	74 (115%)	109 (170%)	67.05		・ 茨城産は、春はくさいの生育は順調でやや前進出荷となっていることから平年より多い出荷となっているものの、秋冬はくさいがこれまでの前進出荷の影響により少ない出荷となっていることから、現在平年よりやや少なめの出荷である。今後は春はくさいの生育が順調なことから、平年並みの出荷の見込み。 ・ 茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に上回っていることから、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		68.70	89 (130%)	68.70	95 (138%)	111 (162%)	74.06			
	 ほうれんそう	338.43	459 (136%)	338.43	540 (160%)	481 (142%)	376.10		・ 茨城産は、生育は順調だが、これまでの前進出荷の影響と次期作の作付面積減少から、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。群馬産は、天候に恵まれ生育は順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、これまでの前進出荷の影響と最近の天候不順から、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 ・ 群馬産の出荷が平年並み見込まれるものの、茨城産及び埼玉産の出荷が平年よりやや少なめ若しくは少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		375.38	538 (143%)	375.38	585 (156%)	475 (127%)	416.73			
	 レタス (結球)	233.85	261 (112%)	189.66	287 (151%)	195 (103%)	156.23		・ 茨城産は、前進出荷の影響から、平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は前進出荷も落ち着いてくることから、平年並みの出荷の見込み。兵庫産は、朝晩の低温と干ばつの影響から、生育が遅れており、現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、今後は気温の上昇とともに平年並みの出荷の見込み。 ・ 茨城産及び兵庫産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。	
		226.75	283 (125%)	193.43	300 (155%)	209 (108%)	165.00			
果 菜 類	 きゅうり	370.98	377 (102%)	266.63	327 (123%)	327 (123%)	266.63		・ 埼玉産は、最近の曇天と夜温が低いことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。群馬産は、やや前進出荷であるが、天候も良く生育は順調なことから、平年よりやや多めの出荷の見込み。千葉産は、曇雨天による日照不足の影響で出荷が安定せず、平年よりやや少なめの出荷であるが、今後は無加温の作型の出荷が始まり生育も順調なことから平年並みの出荷の見込み。 ・ 埼玉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、千葉産及び群馬産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。	
		350.33	361 (103%)	254.91	320 (126%)	306 (120%)	254.91			
	 トマト (大玉)	349.23	383 (110%)	356.77	427 (120%)	469 (131%)	356.77		・ 熊本産は、12月下旬から1月上旬の曇天により、着果の悪い段からの出荷であることから、現在は平年よりやや少なめの出荷となっているものの、今後は着果のいい段からの出荷となり、生育は順調なことから平年並みの出荷の見込み。栃木産は、全体的に小玉傾向で、やや少なめの出荷であるが、一部で病害の発生が見られるものの影響はなく、今後は天候の回復とともに平年並みの出荷の見込み。愛知産は、12月の植え替え作が日照不足などの影響から、現在平年よりやや少なめの出荷となっている。今後は徐々に回復が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。 ・ 熊本産、栃木産及び愛知産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を上回っていることから、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		326.61	364 (111%)	337.87	405 (120%)	441 (131%)	337.87			
	 なす	389.03	427 (110%)	347.77	399 (115%)	413 (119%)	347.77		・ 高知産は、12月の曇天の影響は気温の上昇とともに回復傾向であるものの、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。福岡産は、生育は順調なものの、最近の朝晩の冷え込みが厳しいことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・ 高知産及び福岡産の出荷が、平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		397.74	407 (102%)	330.95	385 (116%)	398 (120%)	330.95			
	 ピーマン	578.80	696 (120%)	578.80	647 (112%)	616 (106%)	339.20		・ 茨城産は、寒暖差や曇天の影響はあるものの、今後は気温が上昇することから、引き続き平年並みの出荷の見込み。宮崎産は、病害は少し見られるものの、特段大きな問題はなく、生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。高知産は、生育は順調なことから、現在平年並みの出荷となっており、生育は順調で日照量も増えることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・ 茨城産、宮崎産及び高知産の出荷が、平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。	
		565.30	646 (114%)	565.30	618 (109%)	588 (104%)	311.41			
根 菜 類	 だいこん	79.03	80 (101%)	79.03	78 (99%)	83 (105%)	86.59		・ 千葉産は、生育期の低温の影響から現在平年よりやや少なめの出荷であるが、生育は順調なことから、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・ 千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を上回っていることから、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		80.47	72 (89%)	80.47	71 (88%)	81 (101%)	89.53			
	 にんじん	111.16	83 (75%)	111.16	96 (86%)	110 (99%)	156.99		・ 徳島産は、天候に恵まれ特段病害の発生もないことから、生育は順調で太物傾向となっており、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・ 徳島産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、平年並みの価格は、平年を下回って推移する見込み。	
		109.97	83 (75%)	109.97	91 (83%)	112 (102%)	148.36			

